医務だより　－R5.1－

あけましておめでとうございます。

新しい年が始まりますネ
１年の計は元旦にありと言われるように、
皆さんも何か計画や目標を持ちましたか？
頑張って目的を達成できたら良いですネ!!

寒さが増して空気も乾燥し、暖房具を使うことが多くなってきています。火の用心はもちろんのことですが、ホットカーペット、使い捨てカイロ、電気毛布などによる低温やけどに充分注意しましょう。

熱湯や大きな原因(火事、直接の火種となるもの)によるやけどは一目瞭然ですが、低温の時は長時間同じ個所に一定温度（暖かいなぁ～と感じるくらい）で当てることにより、症状がでます。
やけどの状態によっては治療が必要になることもあります。充分に注意してくださいネ。

皮膚の基本構造と熱傷の深度

熱傷深度	傷害組織	外　見	症　状	治療期間
Ⅰ度	表皮のみ	発赤、紅斑	疼痛、熱感	数日
浅達性Ⅱ度（Ⅱｓ）	真皮浅層まで	水疱	とくに激しい疼痛、灼熱感、知覚鈍麻	２週間以内
深達性Ⅱ度（Ⅱｄ）	真皮深層まで	水疱（破れやすい）	激しい疼痛、灼熱感、知覚鈍麻	４週間以内、肥厚性瘢痕形成多い
Ⅲ度	真皮全層、皮下組織	蒼白（時に黒色調）、脱毛、乾燥	無痛性	自然治癒なし、瘢痕形成

（日本熱傷学会による熱傷深度分類を一部改変）

※やけどの不適切な傷の管理で感染症を合併することなどによって、やけどの深度が進行して筋肉や皮下組織まで損なわれることもありますので、気をつけましょう。

今年もまた新型コロナウィルスで明け、今後も終わりが見えないですが、今まで通り　うがい・手洗い・マスク・室内の換気　など守って体調管理には気をつけましょう!!

今年度も皆さんの健康管理に少しでも役に立てるよう努めたいと思います。
よろしく御願い致します。　看護師より

NPO 法人笑い太鼓 高次脳機能障害者支援センター　看護師